

## 令和5年11月定例教育委員会会議録

令和5年塩尻市教育委員会11月定例教育委員会が、令和5年11月24日、午後1時30分、塩尻総合文化センター大会議室に招集された。

### 会 議 日 程

#### 1 開 会

#### 2 前回会議録の承認

#### 3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について  
報告第2号 12月の行事予定等について  
報告第3号 後援・共催について  
報告第4号 学校運営協議会委員の辞任及び任命に係る専決処分報告について

#### 4 閉 会

#### ○ 出席委員

教育長	赤 羽 高 志	教育長職務代理者	碓 井 邦 雄
委員	徳 武 あ ゆ 子	委員	甕 剛
委員	八 島 思 保		

#### ○ 説明のため出席した者

こども教育部長	太 田 文 和	生涯学習部長	胡 桃 慶 三
こども教育部次長 (教育総務課長)	熊 井 美 恵 子	生涯学習部次長 (社会教育スポーツ課長)	田 下 高 秋
教育総務課担当 課長	五 味 克 敏	平出博物館長	小 松 学
こども課長	竹 中 康 成	市民交流センター 長(図書館長)	上 條 史 生
家庭支援課長	植 野 敦 司	文化財課長	中 村 琴 江
主任学校教育指導 員	村 上 啓		

#### ○ 事務局出席者

教育企画係長	佐 藤 智 樹
--------	---------

#### 1 開会

**赤羽教育長** 皆さん、こんにちは。

昨日も今日もとても穏やかな日中でございまして、暖かいなと感じました。昨日もシャツ1枚にならないと汗ばむほどの天気でした。家の花壇が、赤いサルビアと黄色いマリーゴールドの花が、日記を見ますと11月12日まできれいに咲き誇っていました。その前、来年用の種を採ろうとして枯れた花種を採種しておきました。翌朝は快晴で、放射冷却で気温がぐっと下がりました、きれいに咲いていたマリーゴールドとサルビアが、霜に当たったその日の夕方、もうドロッと溶けたような形に変容していました。毎年これが私の冬の始まりかなと思っていたのですけれども、今年は信じられないくらい暖かい日が今続いていたということです。

それでは、ただいまから11月定例教育委員会を開会いたします。よろしくお祈りします。

## 2 前回会議録の承認

**赤羽教育長** 次第に従いまして、2番、前回会議録の承認について事務局から説明をお願いします。

**佐藤教育企画係長** 前回、10月定例教育委員会会議録につきましては、既に御確認をいただいておりますので、本会議終了後に御署名をいただきますのでよろしくお祈りします。

**赤羽教育長** よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

**赤羽教育長** それでは、そのようにお祈りいたします。

## 3 教育長報告

**赤羽教育長** 3番に入ります。教育長報告、2点報告いたします。

1つは、11月14日、6年生を迎えてレザンホールを会場に劇団四季ミュージカル、こころの劇場「エルコスの祈り」が公演されました。これがそのときのパンフレットです。コロナ禍で4年ぶりの公演会となりました。市内9つの小学校、檜川小中入れまして、あと両小野小、山形小、朝日小、麻績小、筑北小も招待されて、レザンホールはこの日とてもにぎわいを見せました。

こころの劇場は聞いたことがあると思いますが、一般財団法人の舞台芸術センターと劇団四季が、全国を回って、子どもたちに舞台を通して命の大切さや人を思いやる心、信じ合う喜びなどを伝えるというプロジェクトであります。

初めて劇団四季のこころの劇場をレザンホールで鑑賞できるという小学校6年生が、どんどんレザンホールに入っていました。私は後ろ姿しか見ませんでしたが、皆さん興奮気味なのかなということを感じました。

私も開幕の初めには間に合いませんでしたが、太田こども教育部長と2人で一緒に鑑賞させていただきました。レザンホール職員に案内されまして、大ホールの後ろ扉から入っていました。

劇団四季よりも、私は子どもたちがどんな様子なのかなということが知りたくて一緒に鑑賞させてもらいましたが、ストーリーの思わぬ展開にざわついたりとか、コミカルに演じる役者さんの演技にどっと笑い声が起こったりとか、その一方で、透き通ったような歌声にはシーンと静寂になって聴き入る子どもたちの姿、場面に応じて素直に刺激を受けている子ども

もたちの様子が伝わってきました。

私も引率の経験がありますが、引率の先生たちの立場になると、ちょっと元気に子どもたちを連れて行くと、ほかの学校の子どもたちに迷惑かけちゃいけないと、間に入りながら冷や冷やししながら、自校の子どもたちの様子が気になっていたことを思い出します。

一番の心配は、ちょうど真ん中に休憩時間が入ったときです。子どもたちはトイレに行きたいのと、他校で知り合いの仲間たちとも本当ににぎやかに交流するという場面が休憩時間にあります。

休憩時間が間もなく終わろうとしていたときですが、子どもたちが、仲のよいメンバー同士で群れている姿が会場のあちこちで見られました。どうなるのだろうと見ていました。会場内に後半の始まりを告げる音楽が流れたときですけれども、大ホールのちょうど真ん中の席の学校の子どもたちから、「後半始めて」という拍手が始まったのですよ。それが真ん中からずっと全方向に子どもたちの間に広がって行って、みんなで拍手が起こりました。早く後半をやってほしいというような、見ていて水面の波紋のような感じかなと私は感じました。

そうしたら、まだ立っていた子どもたちがさっと着席して、その子たちも一緒に拍手をしていました。その拍手はとても長く、まだどんちょうは上がらないのですけれども続けていました。この拍手が、劇団四季のキャストさんたちに、二十四、五人いたと思うのですけれども、間違いなく届いているなということを私は感じました。どんちょうが上がって前半の続きがすーっと始まっていきました。最後列の一番高いところで私全体を見ていたのですけれども、子どもたち6年生の姿に感動してしまいました。

鑑賞した6年生の声が後日、届きました。「めちゃ面白かった」「エルコス最高、また見たいから呼んでください」「感動しすぎて本番中、泣いてしまいました」「学校に戻ったら、あらゆる情報がインプットされ、掃除、洗濯、教育何でもこなす万能ロボット、エルコスの物まねをしている友達がいました」今回で10回目ぐらいの公演に塩尻はなるのですけれども、これは塩尻、あと佐久ともう1か所、3か所で公演されているわけですけれども、自慢の劇団四季の公演かなと私は思います。

この公演を行うに当たりまして、レザンホールの職員7名とアルバイトさんたちが、バスの入るところとその道中けがをしないようにという形で、案内、様々な役をこなしていただきました。子どもたちは649名、引率教職員38名、合計687名が無事に鑑賞することができて、心を耕す時間になったのかなということを感じました。

2点目です。インフルエンザ等による学級閉鎖が今止まらない11月であります。長野県の健康福祉部のプレスリリースを見ますと、令和5年11月8日にインフルエンザ警報が発表されました。令和5年の44週目のところで、定点当たりの患者数が32.89人になったということ。警報の基準は30人、それを上回ったということからインフルエンザ警報が発表されました。これは1999年4月の調査開始以来、最速の発表だそうです。

塩尻市内小中学校で、主にインフルエンザ、主にコロナとインフルエンザ、主にコロナ等による学級閉鎖、学年閉鎖ですけれども、11月1日から24日までの間に、小学校では8校30学級、中学校は4校12学級、合計で14校中12校、42学級が学級閉鎖となっております。

ある担任の先生にお聞きしますと、朝10名の欠席連絡があつて、授業中、気分がすぐれないと申し出た子が3名いて、急にクラスの中にインフルエンザが拡大して、担任の先生も発熱したという話です。

本日は 24 日金曜日ですけれども、本日は市内 8 校が年間計画で計画休業ということに、すごいタイミングよくなっています、恐らくこの 4 連休ありますので、学級閉鎖にピリオドが打てればいいかなと願っております。

基本的な感染対策、今までずっと言われてきましたが、せきエチケット、手洗い、うがいをこまめに行うということ、人混みを避けるとともに、人混みに入るときはマスクを着用、十分な栄養や睡眠により体力や抵抗力を高める、手指消毒、換気、予防接種、様々な基本的な感染対策を続けるしかありませんが、先ほどお伝えしたように、急に広がってしまうということもあります。子どもを通して家族感染もあるようですので、家庭での感染予防もぜひ大事にしないといけないかなということを感じました。

以上であります。委員の皆様から、この 11 月たくさん様々な行事もあったと思いますので、学校訪問やイベントに参加されましたところで、率直な意見等ありましたらお聞かせください。よろしくお願いいたします。確井職務代理、お願いします。

**確井教育長職務代理者** 10 月 27 日に松本市で行われた長野県市町村教育委員会研修総会に参加させていただきました。教育委員全員参加したわけですけれども、そのとき感じたことを中心に少しお願いしたいと思います。

講演会では、大阪の大空小学校初代校長の木村泰子先生から「子どもの事実から学校の当たり前を問う」という演題の講演をお聞きしました。先生のお話をお聞きする中で、全ての基は子どもである。普通の子なんていない。全ての子どもの学習権を保障することを目的として学校づくりをし、一番困っている子に焦点を当てたが、やり直しの連続であったという部分。また、子どもを教員一人の力で守り育てるのは無理で、保護者、地域の人、教職員等全ての人が当事者である。教員に不可欠な力は、人の力を活用する力であるというような点が心に深く残りました。また、先生たちは熱心な無理解者になっていないかと言われたときには、はっといたしました。

分科会は、これからの学校づくりについて考えるという大町市の分科会に参加しました。大町市の実践は、市内の学校を統合していく中での実践でありましたし、スタイルの違う義務教育学校も 2 校ある中での発表でありましたので、市教委といいますか、教育行政の思いと現場のすり合わせという部分で、よい研修になったと思います。

1 点だけお聞きしたいことがあるのですけれども、大町市では、教員の働き方改革の面で、行政サイドからのアプローチとして、学校閉庁日の設定や学校への留守電の設置等をされているということでありました。私たちも今月は、こんにちは教育委員会を行っている最中で、この間は広陵中で行いましたが、私の出席したグループ懇談では、先生方から施設や支援面での要望のほかに、教員の働き方改革の面になるかと思えますけれども、夕方的一定時間後は留守電にするような対応を市で統一してほしい旨の要望がありました。私は、時代的にもそういう面も考えていけないのかなと思うわけではありますが、市ではそういう点についてどのように考えているのか、教えていただければと思います。以上です。

**赤羽教育長** 関連してございますでしょうか。よろしいですか。

では、今の点について。

**熊井子ども教育部次長（教育総務課長）** 市内小中学校の夕方、学校での留守番電話の対応につきましても、こんにちは教育委員会以外でも要望がございますので、学校の状況を確認する中で前向きに検討してまいりたいと考えております。

**碓井教育長職務代理者** ありがとうございます。現場の状況等は様々かと思しますので、その辺の実態を踏まえながら御検討いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

**赤羽教育長** ありがとうございます。続けてお願いいたします。

**徳武委員** 私は11月2日、西部中学校のコミスクフェスタ2023、ふるさと学の2年生と3年生の発表を見に行ってきました。2年生は市内の企業を数人の班で取材して、その魅力を伝えるために、自分でタブレットなどを使って動画を作ったりですとか、配る資料を自分たちで作って、保護者の方や地域の方、またその取材した企業の方に見ていただくという学習の発表会でした。

私は2年生の林農園の発表をととても興味深く見てきたのですが、企業紹介の動画とそれから配付資料ですか、そこに自分たちで企業の求人広告を作ってみるというのをやっていました。私たち大人は仕事をしたことがあるから、求人というのは大体どんなものか分かるのですが、仕事をしたことがない、また求人募集などはきっと見たこともない中学生が求人をどのように作るかというのはすごく興味がありまして、詳しく読んでみました。こういう人を望んでいるとか、こんな資格や経歴があると良いとか、あとは基本的なお給料がこれぐらいとか、もちろんあったのですが、社員の人に取材をして、私の会社はこんなところが魅力的ですよというのを中学生目線で求人広告に書いてあったというのがとても良かったです。

そしてその企業の方、林農園の社長さんも、お見えになっていまして、とてもよかったという感想を述べられていました。小さい会社ですが、こういうふうに中学生が熱心に自分たちの会社のことを調べてくれて自分の会社の魅力を外に発信してくれるということがとてもよかったというような感想でした。そういう生徒さんが、将来うちでとは言わないけれども地元の企業に就職してもらったら、地元の為に良いのではないかと、すごく希望もおっしゃっていましたし、とてもよい発表会だったと思います。

保護者の方は、やはりインフルエンザがはやっていた関係で、なかなか見に来られなかった方が多かったのですが、せっかく良い動画とか記事があったので、生徒の端末に配信するなどして、保護者の方にも見てもらえばいいかなというのは感じました。以上です。

**赤羽教育長** ありがとうございます。詳しくありがとうございます。続けて。

**八島委員** 今回は、報告を4件、質問を2件いたしたいと思います。

まず、報告よりいたします。11月6日に情報教育公開講座が丘中学校で行われました。インフルエンザ等で、はやり感染が蔓延する中、全学級の公開授業は御苦労も多かったのではないかと感じております。日頃からICTの活用を積極的に取り入れているのだと、慣れ親しんでいる授業風景を参観できました。まずは使ってみようという認識から、どのように効率よく活用していくのかを考える段階に進歩しているのだと、授業構成の変化が感じられました。生徒側もタブレットへの適応力はとても高く、使用方法などの質問はなく、グループ内での共有や、疑問点は即座にGoogleで検索するなどを行っていました。多人数での共有や個別への対応もでき、効率的であり授業評価もアンケート集計ができ、分析もしやすく、準備の短縮にもなると感じました。

デメリットとしては、画面の共有や画像を使用することにより、言葉を交わし合わずとも認識し合えることで、議論や対話は減少し、語彙が乏しい空間でも画面の選択はしやすくなり、言葉の表現力の成長は遅延していくのではないかと感じました。また、変換機能を活用

していた生徒に質問をしてみると、漢字は覚えられなくなったと返答がありました。

そして中でも非常に残念だなと感じたことは、教員の授業中の言葉遣いです。友達会話が目立ち、教養や品があるとは感じられませんでした。ICTの活用により語彙の乏しさが問題視される状況において、せめて授業中は生徒たちに言語環境を整えてほしいと切に感じました。情報社会の中、教科を学ぶことは学校でなくとも可能となっていきます。学校の授業環境で何を教えていくべきか、教育のあり方もICTと同時に考えていただきたいと思いました。

続いて、11月8日に市内小学校合同音楽会を拝聴させていただきました。広いステージに動じることもなく堂々と合唱した姿は、最高学年である自信も感じられていました。

そして11月15日、16日に、コミュニティ・スクールCafe 丘ボランティアメンバーと近隣の中学校の学校運営協議会会長を含め、千葉と横浜のコミュニティ・スクール併用校である2校を視察してまいりました。両校とも分譲住宅や団地の造設に伴い、学校も同時に設立された特徴がありました。千葉の秋津小学校は、分譲には多様な人が集まったことにより、人的ふるさとが築かれ、何でも言い合える地域社会をつくることを理念にかかげ、自分たちが困っていることを解決、緩和する社会をつくり上げていき、私的な親と社会的親の両側で養育環境を築き上げてきた、と話されていました。横浜市立東山田小学校は、公民館機能を備えた学校でありました。学校と地域をつなぐ学校支援本部が設立されており、コーディネーターの育成やボランティア養成講座など、支援のマインドも確立されていました。学校からの要請に対し地域が何をするのか、叱咤激励ばかりではなく、地域で何ができるのか、教育熱が高い保護者にどう関わっていくのかなど、学校課題に地域がバックアップをする協働体制が築かれていました。しかし、志の高いボランティアを集めることは忙しい大人社会では難しく、両校ともコミュニティ・スクールを法人化され、運営されている類移点がありました。

続いて11月19日にまめまめの会、医ケア児の保護者会懇談会に出席させていただきました。第六次総合計画の共生社会に向けて、医ケア児の育児に対する親の思いを反映させていくための懇談会でした。親御さんの悲痛な思いには、18歳の壁である施設問題、公共のバリアフリー化、学びの選択の乏しさ、窓口やコーディネーター問題、他者交流の希薄や兄弟の育成問題、支援や環境整備改善への訴えがありました。課題解決には難易度により長短あると思いますが、できることを既存感覚のみで考えるのではなく、発想の転換を意識しながら共存社会を築き上げていきたいと感じました。

報告は以上となります。

続いて、質問2点です。先日11月17日に広陵中学校で行われた、こんにちは教育委員会に出席いたしました。グループワークで「ぼーち」について質問がありました。「ぼーち」とは、どの部署がどのような管理対応をされているのでしょうか。また、その評価分析はどのようにされているのでしょうか。教えていただけるとありがたく思います。

2点目も続いて質問させていただきます。今年度各校のコミュニティ・スクールに地域連携活動支援交付金が交付されていると思いますが、各校ともコミュニティ・スクールに活動資金分配されているのでしょうか。また、支援金の使用方法について御説明をされていますか。支援金の該当する項目に対し、質問や相談を受ける担当部署はどこになりますか。各校

の会長にも情報伝達共有ができ、活動の幅も広がっていくと感じます。

**赤羽委員長** 今の2点のことですが、熊井教育総務課長お願いします。

**熊井こども教育部次長（教育総務課長）** まず1点目の相談アプリの「ぼーち」についてですが、今年度は試験的に導入をしております、10月から11月中旬までの間、塩尻西小学校の5年生と広陵中学校の1・2年生に実際に使ってもらい、検証を現在実施し、新年度に向けて予算要求しているところでございます。

学校に対して交付している交付金については幾つかございますが、コミュニティ・スクールで活用していただくために、今年度から地域連携活動支援交付金をつくりました。予算が限られておりますので、学校から実施計画を出していただきまして、教育総務課で確認し、予算の範囲内での運用をお願いしているところでございます。

**八島委員** ありがとうございます。「ぼーち」につき、学校教諭より質問を受けました。生徒より、どのような質問が寄せられているのか、やはり日常を共有している教諭としては興味がある様子でした。しかし内容をフィードバックしてしまうと、生徒側からは、内密で思いの丈を打ち明けているわけですので、両者に対して慎重に取り扱っていただきたいプロジェクトであると感じました。今後は相談件数も増加してくると思いますので、受け皿として機能ができ、評価分析をし、子供たちが傷つくことなく、行きやすい学校生活を送ることを願っています。

**赤羽委員長** コミュニティ・スクールのほうはどうですか。

**八島委員** 各校の学校運営協議会長全員に確認したわけではありませんが、地域活動利用分に仕分けた予算があることを御存じでない方が多くいらっしゃいました。地域コミュニティスクールに活用ができる予算について、どのようにどんな内容で、どのくらいの予算でどこに申請をしてよいのか、活動資金のカテゴリーや規定基準等、学校特有の解釈や、やり取りは地域住民はイメージがしづらいと思います。活用例を示すことで、申請しやすく活動の幅も広がると感じます。

**壺委員** それぞれの委員が11月に参加された行事のほかに、PTAの行政懇談会もありましたし、先日、コミュニティ・スクールの視察研修ということで、上田市の北小学校に行かせていただいて大変勉強になりました。今、八島委員からも出たのですが、コミュニティ・スクールに関しては、やはり1校1人制のコーディネーターが必要だというのは、すごく感じた部分でもあります。予算的に苦しいのはよく分かりますが、中途半端に配置してしまうと、これ以上コーディネーターとして機能しないと思っています。今、1人で3校持っているのですけれども、とてもではないけれど3校は難しいと感じています。ですので、将来的には1校1人制にしてコーディネートしていくのが、コミュニティ・スクールの活動にはすごくいいのではないかと改めて感じさせていただきました。

そのほかの活動の中で、皆さん御存じかどうか分からないのですが、スナバがあるじゃないですか。スナバの企画で10月30日の「パブリックQ、一クエスチョンから広がる、顔の見える『公共』一」ということで、教育委員会を代表して佐藤係長が呼ばれて懇談していると思うのですが、そこでどのような目的だとか、今後どのようにスナバの人たちが考えて佐藤係長を呼ばれて懇談したのか、内容を少し教えていただければと思います。

**佐藤教育企画係長** パブリックQに関しましては、私の前に公民館や社会福祉協議会を題材に

して開催されており、私は教育委員会についてということで招かれました。聞いたことはあるけれどよく分からない公共のことを題材として理解を深める場ということでありました。教育委員会については、なんとなく学校の上にある組織というイメージをお持ちの方が多かったので、まずは、今日のような定例教育委員会が定期的に行われており、教育について大切なことを協議いただいている。その下に事務局があるのですといった話をしました。学校に特化したことだけではなく、図書館、公民館、スポーツの推進、生涯学習、そういった幅広い分野が教育委員会の範囲であることを説明させていただきました。

その後は、具体的にいろいろな質問を頂きまして、そちらに対して一つ一つ答えさせていただいたという内容になります。これを機会に、市民の皆さんにとって遠い存在と感じられている教育委員会が、スナバのパブリックQを通して身近な存在として知っていただけたら、よい機会になるのではないかと感じました。

**委員** ありがとうございます。その中で、また今月もホームページの話なのですが、やはり今月は行事が多かったということがありまして、特に何校か見ている中で印象に残ったホームページは、塩尻中学校の「給食だより」「図書館だより」。これは、図書館で本を借りて、その本の内容、そこに出てくる食事、海外の食事などを栄養士の方と相談して給食に出すという、ストーリーがある給食の提供の仕方だというのがすごくいいな、いい取組しているなどと思って見させてもらいました。

次に、広丘小学校ですけれども、参観日での「みてある記」です。ALTの先生たちをたくさん呼んで、参観日として地域の方も呼び、今まで学習してきた短歌の発表をしていました。またその短歌の説明も英語を使って一生懸命6年生たちが案内をしていました。その姿はホームページにも載っているのですが、テレビ松本でも放送されていました。ちょうど見る機会ができたのですが、子どもたちも一生懸命英語を使って説明していましたし、ゼスチャーなども使いながら、しっかりと勉強をし、本当にいい機会を与えられているなど感じました。

それから、今日も西小ライブがあったのですが、先日、ダンスクラブが西小ライブに出ました。日頃もじもじしているような子どもだと思っていた5年生の男の子・女の子が、キレキレのダンスをしていて、生き生きとして、終わった後にすごくやりきったというインタビューを受けていました。それをホームページに載せてまもなく、プロのダンサーから連絡がきたそうです。松本出身のダンサーですけれども、この人が連絡をくれて、今度、月に1回長野に帰っているの、一緒にダンスしましょうと言ってくれたというものですから、子どもたちも大変喜んでいるようです。やはりそういった活動が誰かの目に留まり、それでさらなる飛躍ができるのではないかと、つながりを持ったいいホームページではないかなと感じました。

私が今回見てよかったのが、丘中学校の1学年の通信です。ちょうど今月は人権強化月間ということで、障がいを持っている人のことを考えてみようという、目が見えない体験をしながら、いかに障がいを持った人が大変なのかということ、身をもって授業としてやっているのです。ちょうど来週かな、視覚障がいのある方のお話をお聞きする取組もしているようです。

先ほど八島委員がおっしゃられた、まめまめの会との懇談会。重度の障がいを持っている方、またその家族の皆さんとの話し合いの中でも、塩尻市の共生社会を築きたいとおっしゃ

っていました。障がいを持っていても、一人一人大切な命だ。そういう思いのある社会をつくって、みんなで共に生きよう。そんな懇談会でした。その中で私が思ったのは、重度の障がいを持ったご家族の生活って、知らないことが多いということです。

こういった人権強化月間のときでもいいのですけれど、当事者の皆さん方を招いて勉強していく。自分たちの友達に、こんな障がいを持って、それでも頑張っている友達がいるのだということを勉強することも、これからの社会を考えたときに、八島委員も18歳の壁とおっしゃっていましたが、本当に行き先がなくなった友達に、自分たちの仲間を自分たちで支えていく社会をつくっていかねばいけない。と今から考えて欲しいのです。ですので、学校でのキャリア教育の1つとしても、そういった学習は必要ではないかと思えます。

現在、介護やいろんな支援の現場なども人手不足で、箱をつくっても働き手がなかなかいないという話もよく聞きます。自分たちが今後生きていく社会を、自分たちがつくっていくという自覚を持たせるためにも、そういった学習の機会というのは必要ではないかなと思えました。

最後に質問だけ1つ。日の出保育園の病後児保育の利用の状況。また駐車場利用の状況が分かれば教えていただきたいと思えます。

**竹中こども課長** 9月25日から病後児保育室が共用開始されました。定員4人でスタートいたしましたして、約2か月経過しました。今日時点で、延べ人数で57人の利用でして、1か月当たり約30人弱ということでございます。この数字につきましては、開始前に知見のある専門家に、人口規模からすると、大体年間100人位ではないかと言われていたけれども、これを大きく上回る数でございまして、我々としては、それだけ潜在的なニーズが多くあったということで、ニーズの掘り起こしがされつつあると評価をしております。

もう1つ、駐車場についてですが、秋のスポーツシーズンがまいりまして、サッカーですとか、あるいは弓道場ですとか、大会が週末に行われております。御存じのとおり、消防署の隣の砂利のところ、狭くなってまいりまして、満車の日がございます。保育園のほうは、土日については、土曜保育、休日保育はやっているものですから、その送迎に支障がなければお使いいただいて構わないということで、関係課で連絡は取っておりますけれども、まだ認知はされていない状況でして先週末も10台程度が駐車している状況でした。今、社会教育スポーツ課の担当とも話をしておりますので、看板の設置ですとか、そういったことをしておりますので、徐々に周知してまいりたいと思っております。

**養委員** ありがとうございます。病後児保育の利用者の方の声というのは、どんな声がありますか。

**竹中こども課長** 病後児担当のほうから断片的に聞いたものですが、例えば看護師のお母さんですとか医療従事者の方は、長期に休めないということで、どうしても子どもの預け先がなくて困っていたので、ありがたいですとか、長い間休むと会社を首になってしまうと心配していたけれども、こういう施設があって大変助かったという声をいただいております。既に何回か利用されている児童も数名いらっしゃいます。そういった方からは、大変に感謝されておりました、職員の励みになっているところです。

**養委員** ありがとうございます。

**赤羽教育長** ありがとうございます。先ほど養委員から紹介された丘中の学年だよりがあり

ますが、これ本当はもう1面あって、細かい連絡は保護者に向けて、その学年の今やっていることを、いつも新鮮な。丘中は四、五年続いています。だから、ほかの学年の保護者が読んでも、来年こういうことをやるのだと分かるような気がして。紹介ありがとうございました。

そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。丁寧な報告とか御質問ありがとうございました。

それでは、次に行きたいと思います。

### ○報告第1号 主な行事等報告について

**赤羽教育長** 報告第1号、主な行事等報告についてお願いしたいと思います。資料1ページから7ページです。事務局から主要な行事について説明をお願いいたします。

**上條市民交流センター長（図書館長）** 1ページの中段、子ども本の寺子屋講演会、また3ページ上段と下段、一般向けの本の寺子屋講演会など、本の寺子屋に関する行事を計画どおり開催して、成果を上げることができましたので、記載内容を御確認いただければ幸いです。よろしく申し上げます。

**赤羽教育長** 続けて申し上げます。

**小松平出博物館長** それでは続きまして、3ページ中段をお願いいたします。10月22日に、秋の妙義山城を歩くと題したイベントを開催し、定員いっぱいの30名の参加者がありました。このイベントにつきましては、当初4月に予定しておりましたが、悪天候のため中止したもので、その後、多くの方々から実施してほしいという要望がありましたので、今回開催したものになります。

この妙義山城がある場所というのが、洗馬元町の本洗馬歴史の里資料館の裏山に当たりまして、戦国時代の松本平南部一帯を支配していました豪族の三村氏の居城であったとされている場所になります。

内容といたしましては、本洗馬歴史の里資料館から出発しまして、妙義神社が鎮座します妙義山の頂上まで標高差約150メートルの山城を、城の構造、時代背景などの説明を受けながらトレッキング感覚で登山したものになります。この見学会では、参加者は、敵の侵入を防ぐため数メートルも掘りくぼめられた深い溝や削平地と呼ばれるような防御施設を目の当たりにしながら、戦国時代に思いをはせておりました。

生涯学習部の行事報告は以上となります。

**赤羽教育長** ありがとうございました。それでは、委員の皆様から何か質問、御意見がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

ありがとうございました。ないようですので、次に進みます。

### ○報告第2号 12月の行事予定等について

**赤羽教育長** 報告第2号、12月の行事予定についてお願いいたします。資料8ページです。皆さん全員に関わるものとしては、22日に定例教育委員会・協議会がありますので、皆様の御出席をお願いいたします。それから、豊かな心を育む市民の集い、こどもだけの街こどもしおじりなどの行事もありますので、委員の皆様も御都合がございましたら、御覧いただければと思います。見ていただきまして、御質問等ありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。では、次に進みたいと思います。

### ○報告第3号 後援・共催について

**赤羽教育長** 報告第3号、後援・共催についてですが、資料9ページから11ページであります。見ていただきまして、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

**審委員** 43番ですけれど、これは具体的に何ですか。ほかのものと比べると分かりづらいのですけれど。

**佐藤教育企画係長** こちらは、学校に行きづらいお子さんの居場所として、小中高校生の親子を対象にしたボードゲームを使った居場所づくりという内容になります。

**審委員** これは初めてですか。

**佐藤教育企画係長** 後援は初めてになります。

**審委員** これから定期的にやっていくような感じですか。

**佐藤教育企画係長** 今回実施してみたいということになると思いますが、これからも実施していきたいというお考えだと思います。

**審委員** ありがとうございます。

**赤羽教育長** ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

### ○報告第4号 学校運営協議会委員の辞任及び任命に係る専決処分報告について

**赤羽教育長** 続きまして、報告第4号に入りたいと思います。学校運営協議会委員の辞任及び任命に係る専決処分報告であります。資料12ページ。事務局から説明をお願いします。

**熊井こども教育部次長（教育総務課長）** 報告第4号になります。民生児童委員であった北澤智彦氏の退任に伴いまして、広陵中学校から学校運営協議会委員辞任申出書及び推薦書が提出されましたので、委員の辞任及び任命について、教育長専決により決定しましたので報告するものでございます。

教育長専決日は令和5年11月1日、委員の辞任は令和5年7月31日。委員の任期につきましては、令和5年11月1日から令和6年3月31日まででございます。

**赤羽教育長** ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御質問、御意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、報告のとおり御承知おきください。

本日予定されていましたが、そのほか、委員の皆様から何かありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

事務局から何かありましたらお願いします。

**小松平出博物館長** 1点、お知らせをお願いします。お手元に印刷しましたものをお配りしましたが、明日土曜日午後6時から7時までの時間帯で、NBS長野放送「土曜はこれダネッ！」という番組で、平出遺跡公園におきましてロケを行いました。その中で、縄文、古墳の村を案内して、最後に火起こしを行うということで、遺跡公園で2時間ほどロケしましたが、何分くらいにカットされているか分かりませんが出ますので、もし時間がある方は御覧ください。以上です。

**赤羽教育長** ありがとうございます。見られる方は見ていただきたいと思います。よろしく

お願いします。

それでは、全て終わりました。

#### **4 閉会**

**赤羽教育長** それでは、以上をもちまして 11 月定例教育委員会を閉会といたします。皆さん、ありがとうございました。

○ 午後 2 時 22 分に閉会する。

以上

令和5年12月22日

署 名

教 育 長

---

同職務代理者

---

委 員

---

委 員

---

委 員

---

記 録 職 員 教 育 総 務 課  
教 育 企 画 係 長

---